

令和3年度上半期

会津美里町水道事業 業務状況報告書

令和3年度上半期（令和3年4月1日～令和3年9月30日）の会津美里町水道事業の業務状況は次のとおりです。

## 1. 経理の状況

### (1) 収益的収入及び支出（消費税込み）

当期の営業収益は 173,078,191 円、営業外収益は 44,427,984 円（長期前受金戻入 20,369,000 円を含む）で、合計 217,506,175 円となり、収入の主軸である給水収益は、予算額 372,885,000 円に対し調定額 170,172,409 円で 45.6%になりました。

当期の営業費用は 154,152,912 円（減価償却費 77,408,500 円を含む）、営業外費用は 7,054,662 円で、合計 161,207,574 円となりました。

### (2) 資本的収入及び支出（消費税込み）

当期の資本的収入は 8,000,000 円で、資本的支出は 61,613,448 円となりました。

収入の内訳は、一般会計補助金 8,000,000 円です。

支出の内訳は、建設改良費 8,625,770 円、企業債償還金 52,987,678 円です。

### (3) 予算執行状況（消費税込み）

#### ア 収益的収入及び支出

##### 収入

(単位：円)

科目	予算現額	執行額	差引額
第1款 水道事業収益	472,943,000	217,506,175	255,436,825
第1項 営業収益	375,213,000	173,078,191	202,134,809
第2項 営業外収益	97,729,000	44,427,984	53,301,016
第3項 特別利益	1,000	0	1,000

##### 支出

(単位：円)

科目	予算現額	執行額	差引額
第1款 水道事業費用	427,839,000	161,207,574	266,631,426
第1項 営業費用	400,635,000	154,152,912	246,482,088
第2項 営業外費用	25,744,000	7,054,662	18,689,338
第3項 特別損失	260,000	0	260,000
第4項 予備費	1,200,000	0	1,200,000

イ 資本的收入及び支出

収入

(単位：円)

科目	予算現額	執行額	差引額
第1款 資本的收入	127,446,000	8,000,000	119,446,000
第1項 企業債	65,400,000	0	65,400,000
第2項 出資金	37,971,000	0	37,971,000
第3項 補助金	16,000,000	8,000,000	8,000,000
第4項 工事負担金	8,075,000	0	8,075,000

支出

(単位：円)

科目	予算現額	執行額	差引額
第1款 資本的支出	245,893,000	61,613,448	184,279,552
第1項 建設改良費	139,384,000	8,625,770	130,758,230
第2項 企業債償還金	106,509,000	52,987,678	53,521,322

## 2. 令和2年度決算

本町の水道事業は、安全で安心な水を供給するために、施設の維持管理と老朽管更新事業等の建設改良を行い、安定給水の確保に努めました。

老朽管更新事業は、既設石綿セメント管の老朽化、経年劣化による漏水等の事故により水道水の安定供給に支障となるため、管路整備の一環としての平成30年度に計画を策定、令和元年度から工事に着手しており、現在は全体更新計画延長約25kmのうち、累計更新延長は約1.4kmであり、進捗率は5.7%となりました。

水道事業の現状は、高度成長期に整備された老朽化した施設の更新や災害に強い施設整備といった、将来に受け継ぐ取組が必要不可欠であり、これらの事業を実施するためには多額の財源を確保する必要があります。

しかし、過疎化と少子高齢化に伴う給水人口の減少等により水道料金の増加が見込めず、厳しい財政状況が続くものと予測されますが、今後も計画的な維持管理や適切な事業選択などにより、経営の効率化と給水サービスの向上に努めます。

令和2年度の決算の概要は以下のとおりです。

### (1) 給水の状況

令和2年度末における給水戸数は6,245戸であり、前年度と比較し1戸減少し、給水人口は17,113人で、前年度と比較し270人の減少となりました。

年間総配水量は1,961,994 $\text{m}^3$ と、前年度と比較し51,695 $\text{m}^3$ 減少し、地域別で比較した場合、高田地域986,463 $\text{m}^3$ で26,471 $\text{m}^3$ の減少、本郷地域648,455 $\text{m}^3$ で30,884 $\text{m}^3$ 減少、新鶴地域で327,076 $\text{m}^3$ で5,660 $\text{m}^3$ の増加となりました。

また、有収水量は1,578,909 $\text{m}^3$ で、前年度と比較し42,730 $\text{m}^3$ 増加し、地域別で比較した場合、高田地域774,232 $\text{m}^3$ で22,879 $\text{m}^3$ の増加、本郷地域500,979 $\text{m}^3$ で9,613 $\text{m}^3$ の増加、新鶴地域303,698 $\text{m}^3$ で10,238 $\text{m}^3$ の増加となりました。

有収率は80.48%で、前年度と比較し4.19%増加し、地域別で比較した場合、高田地域78.49%で4.31%の増加、本郷地域77.26%で4.93%増加、新鶴地域92.85%で1.55%増加となりました。

### (2) 経営の収支状況

保有する現金預金は、前年度末から89,100,286円増加し、令和2年度決算時において401,906,870円となりました。このうち、安全性及び流動性を考慮し、定期預金に200,000,000円を預入し、資金の有効活用に努めました。

本年度の収益的収支は、収入総額が451,341,361円（消費税込485,705,622円）に対し、支出総額は、377,887,499円（消費税込409,544,917円）で、73,453,862円の純利益となりました。

収入の主な内容は、給水収益、長期前受金戻入及び一般会計補助金によるものです。水

道料金については、感染症対策生活応援事業として6月分から11月分までの基本料金を半額とする減免を行いました。減免額は50,977,256円(延べ39,326件)で、減収による損失は一般会計補助金で補填されました。収納率は、減免による調定額の減により、現年分で82.9%(前年比1.5%減)となったが、納付管理を徹底し、かつ給水停止処分を実施し、過年度分と合わせた全体額では85.2%(前年比1.1%減)の収納率を確保しました。

支出の主な内容は、受水費をはじめ維持管理経費(原水・配水・総係・減価償却)及び企業債利息等に係るものです。総支出に占める割合は、減価償却費が37.5%、受水費が28.1%、修繕費が5.4%、企業債利息が3.9%となり、あわせて全体の約75%を占めた。利益は、前年度と比較して、6,995,905円の増加となりました。この主な要因は、老朽管更新事業、全地域の漏水調査等、施設・設備の計画的かつ効率的な更新(修繕)による経費削減効果が挙げられます。

# 令和3年度上半期 会津美里町水道事業損益計算書

(令和3年4月1日から令和3年9月30日まで)

(単位：円)

## 1 営業収益

(1) 給水収益	154,702,190	
(2) その他の営業収益	2,716,170	157,418,360

## 2 営業費用

(1) 原水及び浄水費	46,884,344	
(2) 配水及び給水費	12,581,448	
(3) 総係費	10,642,041	
(4) 減価償却費	77,408,500	
(5) 資産減耗費	0	
(6) その他営業費用	136,566	147,652,899

営業利益 9,765,461

## 3 営業外収益

(1) 受取利息及び配当金	3,079	
(2) 他会計補助金	24,000,000	
(3) 長期前受金戻入	20,369,000	
(4) 雑収益	54,916	
(5) 引当金戻入益	0	44,426,995

## 4 営業外費用

(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	7,054,662	
(2) 雑支出	0	7,054,662

経常利益 47,137,794

5 特 別 利 益

(1) 固定資産売却益	0	
(2) 過年度損益修正益	0	0
	<hr/>	

6 特 別 損 失

(1) 固定資産売却損	0		
(2) 過年度損益修正損	0		
(3) その他特別損失	0	0	0
	<hr/>	<hr/>	<hr/>

当期純利益		47,137,794
前年度繰越利益剰余金		183,231,917
その他未処分利益剰余金変動額		0
当期末処分利益剰余金		<hr/> <hr/> 230,369,711

# 令和3年度上半期 会津美里町水道事業貸借対照表

(令和3年9月30日)

(単位：円)

## 資産の部

### 1 固定資産

#### (1) 有形固定資産

イ 土地		35,169,957	
ロ 建物	796,534,073		
減価償却累計額	△ 342,265,026	454,269,047	
ハ 構築物	6,496,572,708		
減価償却累計額	△ 3,693,820,816	2,802,751,892	
ニ 機械及び装置	641,203,948		
減価償却累計額	△ 458,505,244	182,698,704	
ホ 車両運搬具	3,200,313		
減価償却累計額	△ 337,717	2,862,596	
ヘ 工具、器具及び備品	3,906,490		
減価償却累計額	△ 2,980,165	926,325	
ト 建設仮勘定		22,858,170	
有形固定資産合計		<u>3,501,536,691</u>	

固定資産合計 3,501,536,691

### 2 流動資産

(1) 現金預金	434,625,530	
(2) 未収金	29,187,194	
貸倒引当金	△ 677,000	
(3) 貯蔵品	5,195,451	
(4) 前払金	3,200,700	
(5) その他流動資産	6,507,213	
流動資産合計	<u>478,039,088</u>	

資産合計 3,979,575,779

## 負債の部

### 3 固定負債

#### (1) 企業債

イ 建設改良等の財源に  
充てるための企業債

652,926,585

ロ その他の企業債

0

企業債合計

652,926,585

固定負債合計

652,926,585

### 4 流動負債

#### (1) 企業債

イ 建設改良等の財源に  
充てるための企業債

53,521,207

ロ その他の企業債

0

企業債合計

53,521,207

#### (2) 未払金

0

#### (3) その他未払金

0

#### (4) 引当金

イ 賞与引当金

0

ロ 法定福利費引当金

0

引当金合計

0

#### (5) 預り金

9,303,713

#### (6) その他流動負債

15,660,820

流動負債合計

78,485,740

### 5 繰延収益

#### (1) 長期前受金

2,193,915,713

#### (2) 収益化累計額

△ 1,238,994,156

繰延収益合計

954,921,557

負債合計

1,686,333,882

## 資本の部

6	資 本 金		2,060,354,482
7	剰 余 金		
	(1) 資 本 剰 余 金		
	イ 受 贈 財 産 評 価 額	740,720	
	ロ 国 庫 補 助 金	1,776,984	
	資 本 剰 余 金 合 計		2,517,704
	(2) 利 益 剰 余 金		
	イ 減 債 積 立 金	0	
	ロ 利 益 積 立 金	0	
	ハ 建 設 改 良 積 立 金	0	
	二 当 期 未 処 分 利 益 剰 余 金	230,369,711	
	利 益 剰 余 金 合 計		230,369,711
	剰 余 金 合 計		232,887,415
	資 本 合 計		2,293,241,897
	負 債 資 本 合 計		3,979,575,779